※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身の回りのものごとから、形や色といった造形的な要素を感じ取り、ものの見方や考え方を身につけます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の扱い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は振り返りレポートや相互批評を行い作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

２　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図や創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、素材などの造形的特徴を捉えて主題に沿った表現が行えているかや、材料や用具の特性を活かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことを創造的に表現できているか、また、他者の作品の良さを理解し自身の作品への客観的視点が養われているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組めているかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	浮いた立方体を描く	【絵画】【鑑賞】 1、 主題の設定 与えられたモチーフについて形態について理解し、影のつけ方などイメージを明確にする。 2、 制作 鉛筆や消しゴム等の材料を活かしてグレースケールを作成し、表現方法を工夫し表す。 3、 鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートやスライドを使い相互批評しあう。	a:(知識) 立方体の形態や光と影の成り立ちといった特徴を把握できているか。 (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を活かすとともに陰影のつけ方等表現方法を工夫して主題を追及できているか。 b:(発想や構想) 造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 c:振り返りシートをもとに主体性を持って活動や取り組みについて記入することができる。	ワークシート 作品 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート
	桜塚高校アイコンデザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎について「色の三原色」「光の三原色」について学び、構成について考えることができる。アクリルガッシュの絵の具の特性について学び、主題に合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・桜塚高校のブランドコンセプトを考え、人に伝わる作品づくりができる。	a:(知識・技能)桜塚高校のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとする。アクリルガッシュ絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して目的や計画をもとに表現している。 b:(発想や構想)条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 (鑑賞)他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:自身のイメージからアイデアスケッチや下描きから構想を練り表現に結び付けることができたか。鑑賞や振り返りシートで主体性を持って取り組むことができたか。	ワークシート 作品 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	好きなものを彫る（彫刻レリーフ）	【彫刻】【鑑賞】 1. 彫刻について理解を深め、塑像制作の手順を理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体で表す表現の方法を工夫し、主題を追及して創造的に表す。 2. 作品にしたいものから主題を生成し、テーマに合わせ技法を考え、創造的な表現の構想を練っていく。 （鑑賞） 彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	a:（知識・技能） 塑像、石彫、木彫の作品について特徴などを理解し、レリーフ作品について知ることができる。 b:（発想や構想） 作品にしたいものから主題を生成し、。材料の特性を生かし創造的な表現の構想を練ることができる。 （鑑賞） 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:作品を立体的に表現できるよう、主体性をもって取り組むことができたか振り返りシートを使って確認する。	ワークシート 作品 振り返りシート	取り組み状況 作品 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート
	アニメーション制作	【映像メディア表現】 ・身近なものや粘土を使ってコマ撮りアニメーションの手法を学ぶ。簡単な動画を作成する。 【鑑賞】 ・アニメーションを鑑賞し、自身が作ったものや他者の作品について理解し、良さを感じることができる。	a:（知識・技能） 簡単な動画編集の手法を学びアニメーションについて理解することができる。 b:（発想や構想） 身近なものや粘土の素材を利用し自分のイメージを膨らませ構想できる。 身近な素材でできることを活かし、主題に合った工夫がされている。 （鑑賞）他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:主体性をもって取り組むことができたか振り返りシートを使って確認する。	ワークシート 作品 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	スクラッチ技法による人物を描こう	【絵画・彫刻】【鑑賞】 1、 対象の設定 ・対象とする人物を選び、その特性や顔の特徴をつかむ。 2、 構想を練る ・黒い画面からニードルで削ることで明るさを表現し、立体的に表現できることを理解する。 3、 ・完成のイメージをもとにスクラッチ技法で明暗を的確に表現できる。	a:(知識・技能) 多様な絵画表現に興味関心を持ち、対象について描き表現することができる。また、人物画をはじめ様々な表現方法について知ることができる。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 b:(発想や構想) 写真をもとに人の表情等細かな部分まで観察することができる。 (鑑賞) 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができているか。 c:主体性をもって取り組むことができたか振り返りシートを使って確認する。	ワークシート 作品 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	文様のデザインと四面体の変わり絵	【デザイン】 ・教科書に掲載されている作品などを通じて世界の文様の多様さを知るとともに、染や織りなど、どのようにその文様が作り出されているかについて学ぶ。 ・文様が使われている色や形に注目し、それぞれの特徴や文化的な背景について考える。 ・文様と生活との関わりや、単純化・繰り返しという文様の要素を学ぶ。 ・文様を生かし、回転させると4回絵柄が変わる四面体の変わり絵立体をデザインすることができる。 【鑑賞】 ・自身が作ったものや他者の作品について理解し、良さを感じることができる。	a:（知識・技能） 文様のよさや美しさを感じ取るだけでなく、それぞれの文様がどのような発想から生まれているのか、モチーフの単純化や配色・パターンに着目し、分析することができる。 b:（発想や構想） 動植物やものの形や色の特徴から主題を生成し、変わり絵の立体に合わせて形と色の組み合わせや構成などの効果について考え、創造的な表現の構想を練っている。 （鑑賞）他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、一人ひとりの作品の違いを認識し理解しようとする。 c:四面体の立体に文様を施し、回転させることで4回絵が変わることを理解し、工夫して創造活動に取り組むことができたか、作品と振り返りシートを使って確認する。	ワークシート 作品 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 作品 振り返りシート	ワークシート 取り組み状況 作品 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度